

## 採卵鶏における木炭及び木酢液の添加試験

木炭及びその製造時の副産物である木酢液について、畜産分野での施用効果を検証するため、畜産試験場では採卵鶏を用いた給与試験を実施したところいくつかの所見が得られたので報告します。

試験期間は141～197日齢の8週間とし、試験区分は対照区を市販成鶏用配合飼料(CP17%、ME2,850kcal)、試験区を市販成鶏用配合飼料+木酢液1%添加(通常飼料1週間、添加飼料7週間)とし、いずれも自由採食としました。

### 結果の概要

(1)試験終了時の平均体重に大きな差は見られませんでした。期間中の飼料消費量、要求率は木酢液添加区が有意に低い結果でした。(表-1)

表-1 生存率及び飼料の利用性(141～197日齢)

区分	生存率 %	飼料消費量 g	飼料要求率	平均体重 (試験終了時)g
対照区	100.0	238.5	2.19	2149.3
木酢添加区	100.0	209.7**	1.90*	2087.7

\*：有意差あり(5%水準) \*\*：有意差あり(1%水準)

(2)試験期間中の産卵性に大きな差は見られませんでした。木酢液添加区が高い傾向にありました。(表-2)

表-2 産卵性(141～197日齢)

区分	産卵率 %	産卵個数 個	日生産量 g	卵重 g
対照区	91.3	1341	54.5	59.7
木酢添加区	92.7	1362	55.2	59.5

以上の結果から、本試験では、木酢液の飼料中への添加は飼料効率や生産性にある程度の効果があることが示されました。なお、今回紙面の都合上割愛せざるを得なかった卵質や保存性、臭気低減への効果については、別の機会に紹介させていただき予定です。

(中小家畜研究室 野口宗彦)